

令和5年度 学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

(1) 協議会名称

令和5年度 東京都立東村山西高等学校 学校運営連絡協議会

(2) 事務局の構成

事務局長 保健総務部主任

(3) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭（教務主任兼務）、主幹教諭（生活指導主任兼務）
主任教諭（進路指導主任兼務）、主任教諭（保健総務主任兼務）、主幹教諭（学年主任兼務）
計8名

(4) 協議委員の構成

東村山市教育委員会統括指導主事、東村山市立東村山第七中学校校長、
東村山市立富士見小学校校長、東京都立東村山中央公園センター長
有識者（コーポレート・ビジョンズ社シニアコンサルタント）、社会福祉法人「いずみ」理事、
本校PTA会長
計7名

(5) 評価委員の構成

副校長、有識者（コーポレート・ビジョンズ社シニアコンサルタント）、本校PTA会長 計3名

2 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 協議会

第1回	日時	令和5年6月27日（火）午後3時40分より午後4時40分まで
	場所	本校校長室
	出席者	協議委員5名 内部委員8名
	内容	今年度の学校経営方針の説明（校長及び各分掌・学年）、意見交換
第2回	日時	令和5年10月31日（火）午後3時40分より午後4時40分まで
	場所	本校校長室
	出席者	協議委員6名 内部委員8名
	内容	前期活動報告、学校評価の内部検討、意見交換 ※6限目（14：35～15：25）授業見学 2名参加
第3回	日時	令和6年3月12日（火）午後3時30分より午後4時30分まで
	場所	本校校長室
	出席者	協議委員4名 内部委員8名
	内容	後期活動報告、学校評価の報告、意見交換

(2) 評価委員会

第1回	日時	令和5年10月31日（火）午後3時～午後3時20分
	場所	本校生徒相談室
	出席者	評価委員3名
	内容	今年度の学校評価アンケートの内容検討

第2回 日時 令和6年3月12日（火）午後3時～午後3時20分
場所 本校生徒相談室
出席者 評価委員3名
内容 今年度の学校評価アンケートの結果における学校運営への反映

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

（1）評価の観点

教育活動への満足度、期待度、要望、改善点の実態把握

（2）アンケートの実施時期、対象、規模

・11月	全校生徒	対象：601人	回収：553人	回収率：92.0%
・11月	保護者全員	対象：601人	回収：195人	回収率：32.4%
・12月	地域・住民	対象：40人	回収：15人	回収率：37.5%
・12月	教職員	対象：38人	回収：35人	回収率：92.0%

（3）主な評価項目

学校運営、学習活動、生活指導、進路指導、特別活動、ライフ・ワーク・バランスの推進等

（4）評価結果の概要

別紙「学校評価アンケート 集計結果」参照

4 学校運営連絡協議会の成果と課題

（1）学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・新型コロナウイルス感染症が5類移行後の教育活動に良い評価を頂いた。特に、高槻祭をはじめ学校行事において、生徒に感染症対策を考えさせながら活動させる機会となった。
- ・都立東村山中央公園における生徒の奉仕活動について良い評価を頂いた。
- ・高槻祭への富士見小学校児童の招待や都立東村山中央公園が協賛している「女子高生の無駄遣い」（アニメ）のスタンプラリーにおける本校生徒の協力等地域との交流について良い評価を頂いた。
- ・今年度行った海外（台湾）の学校とのオンライン交流及び来年度予定している海外研修旅行などの海外学校間交流推進校としての取組に対して良い評価を得た。
- ・協議委員相互の意見交換において、有意義な機会となった。
- ・授業見学を通じ、本校への理解を深めていただくことができた。

（2）学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・新型コロナウイルス感染症が5類移行後の教育活動について
保護者が来校する機会を増やし、教育活動に理解を深めてもらう必要がある。
地域施設と連携する教育活動の機会をさらに増やす必要がある。
学校説明会等の機会を増やし、中学生が本校を知る機会を増やす必要がある。
- ・スピーキングテストの本格実施等、これまで以上に中学校との連携が重要となったこと。
- ・生徒、保護者及び教員が生活指導について課題があるということ。
- ・教員も挨拶が不足している部分があること。
- ・地域住民への本校の教育活動の理解が進んでいないということ。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

（1）学校運営

- ・新型コロナウイルス感染症対策を着実に行之、学校における生徒・教職員の安全を守る。
- ・きめ細かな指導を継続するとともに家庭との連絡を密にする。
- ・保護者が参加する機会を増やす。

- ・教員の協働意識を高め、学習・生活・進路指導を組織的に取り組んでいく。
- ・地域と連携した教育活動を活用し、充実した指導に繋げる。

(2) 学習活動

- ・自分の将来像を描かせ、自主性を育成し、目標を持った学校生活を送る指導に努める。
- ・数学における習熟度別授業及び国語・英語・家庭・体育における少人数制授業を活用して基礎学力の更なる向上を進める。
- ・若手教員の育成としての研究授業・授業研修会を引き続き行い、授業力向上に努める。

(3) 特別活動

①部活動

- ・新型コロナウイルス感染症対策を確実にしながら、活動を継続させ、学校の活性化に繋げる。
- ・地域の行事等への参加する機会を探る。参加にあたっては、健康管理を徹底させるとともに保護者の同意を得る。

②学校行事

- ・生徒主体の実行委員会の機能をより高めることにより、生徒の参画意識の向上を図り、達成感や成就感を醸成する。
- ・保護者や地域の方が参加する機会を増やし、本校の教育活動への理解及び協力を得る。

(4) 生活指導

- ・始業前の校門指導をはじめ、交通安全指導を徹底し事故を未然に防ぐ。
- ・服装指導や、頭髪指導、化粧防止指導を継続するとともに、指導方法の抜本的な見直しを含めて、校内の規律の保持を図る。
- ・校則の意味や意義を継続的に指導し、自律した行動をできる生徒の育成を目指す。
- ・ノーチャイム制を継続し、時間を管理できる生徒の育成を目指す。

(5) 進路指導

- ・3年間を通じて実施する進路計画により、高い進路決定率を維持している。今後も厳しい社会情勢が予想されるが、きめ細かな進路指導を充実させていく。

(6) 健康・安全

- ・学校主体の健康・安全行事へ、保護者・地域の方にも参加して頂ける機会を捉え、相互に協力して生徒の健全育成を図っていく。
- ・スクールカウンセラーの活用や保健室による、生徒の心理面での指導・援助を進める。
- ・専門医による保健相談や外部講師による講演等を通して、生命尊重や規範意識の醸成を図る。

6 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

- ・職員会議、企画調整会議への参加実績はなかった。

7 その他

- ・公開授業・各行事等への協議委員の参加を促し、本校を知っていただく機会を作っていく。